

ひがしそのぎ 議会だより

第 164 号



上手に踊れたね。

やまだこども園発表会 (12月8日)

12月定例会

新中学校名等条例の改正並びに主な議案	2 ページ
一般会計補正予算一部修正・町民の声	3 ページ
町政を問う！ 7 人が一般質問	4 ～ 7 ページ
委員会活動報告	8 ～ 9 ページ
新年挨拶・編集後記	10 ページ

千綿中学校、ホテル化の構想却下

一般会計補正予算一部修正可決

千綿中学校跡地活用構想委託料162万円の減額修正を全会一致で可決

減額修正理由の主なもの

- ①現在、生徒通学中、廃校跡地利用の構想を出すのは、時期尚早。
- ②廃校跡地利用について、地元住民の方々等との説明会が全く行われていない。
- ③老朽化が進んでいる千綿小学校を、改修が終わった中学校に移転する案もある等々。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3874万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ49億6588万円とする。

今回の補正予算の主なものは、歳出で、民生費に障害者医療給付費、老人保護措置費委託料など443万5千円、衛生費に浄化槽設置整備事業補助金など1159万9千円、農林水産業費に法音寺農村公園フェンス取替工事、農業、漁業集落排水事業特別会計繰出金など408万4千円、教育費に文化ホール階段室破損ガラス復旧、中学校統合に伴う経費など1691万5千円等である。

歳入においては、特別財源として、国庫支出金1116万1千円、町債410万円など計上し、一般財源として、町税1216万8千円、地方交付税1407万9千円などを追加計上した。

町民の声

西田 善志（大音琴地区在住）



私は大音琴で生まれ育ち、66年になります。

旧音琴小学校区（小音琴・大音琴・浦・口木田）の西部地区は、皆さんご存知のとおり、海あり、山ありと環境としては申し分ない所です。

ところが近年、時代の流れと共に、駐在所がなくなり、少子高齢化が進み音琴小学校も閉校となり、増えるのは国道205号線走る自動車と、田畑を荒らすイノシシであります。特に205号線西部地区近辺の、事故発生率が、県内でも高く、日にち、時間帯に関係なく交通量が年々増える一方で国道に出ることも容易でなく、歩道も幅が狭く、危険な場所がたくさんあり不安です。また、事故が発生するたびに交通が遮断され、渋滞し、緊急車両もまともに通れない深刻な状況になっています。普段の生活に支障をきたすと共に不安を覚えます。私は60年前、大切な姉を音琴バス停前の交通事故で亡くして以来、真剣に思うのです。地元として何十年も前から町、町議会、国交省、警察等への働きかけをしていますが、抜本的な解決策が見出されていないと思います。

9月議会で町長さんは、バイパスは反対で、今の国道を拡幅したいと言われていますが、たとえそれが計画されたとしても、用地買収等も含め、かなりの年数がかかり、出来たところで今の交通量は全く変わらないと思いますし、西部地区の国道の問題の解決策にならないと思います。また最近、ある議員さんの話では、国交省の話として、国道とは別に有料道路なら近いうちに計画することは出来るとの事ですが、それこそ、議会で質問し、議論の俎上に載せるべきではないでしょうか。

次に、旧音琴小学校跡地に、学校法人「きのくに子どもの村学園」が4月に開校になります。地元にとっては子どもたちの声が聞こえるし、明るくなる楽しみがある反面、学校周辺の道路が狭く、駐車場もないので事故等のトラブルを心配されている方も少なくありませんので、地域住民等の要望を踏まえて、早急に学校周辺の環境整備に努めていただきたいものです。

平成もあと数ヶ月、5月からは「新元号」となります。今回は町も様変わりしてほしいとの思いや、議会活性化の一助となればとの思いで、西部地区の事例を取り上げての投稿といたしました。要は町民の不安を少しでも取り除いていただき、町民が安心して暮らせるように町執行部、町議会が共に真摯に実のある議論を展開して、町政運営を行っていただきますよう期待しております。

東彼杵中学校に決定

○東彼杵町学校設置条例の一部を改正する条例（議案第72号）

9月議会以降、町が公募していた新中学校の名称が82件の応募の中より、一番得票数が多かった東彼杵中学校に決定し、東彼杵町学校設置条例の一部を改正しました。



今年4月から
名前が変わります
よろしくお願いします

その他の主な議案

○東彼杵町手話言語条例の制定（議案第68号）

○東彼杵町農村婦人の家設置及び使用条例を廃止する条例（議案第73号）

平成28年に国土交通省から選定された重点道の駅の整備を進めるにあたり、その事業遂行上、本施設の用途を廃止する必要性が生じたため。

○佐世保市及び東彼杵町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に係る協議について（議案第74号）

（目 的）

この連携協約は佐世保市と東彼杵町が中長期的に連携して、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図ることにより、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域経済の活性化と利便性の向上に取り組み、住民が安心して快適に暮らしを営む事ができる圏域を形成する事を目的とするもの。

賛否表 ○賛成 ×反対

議案番号	議 案 名	堀	吉永	岡田	前田	口木	立山	浪瀬	森	大石	橋村
73号	東彼杵町農村婦人の家設置及び使用条例を廃止する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
74号	佐世保市及び東彼杵町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○

【議員】夜9時の時点で、職員は災害対策本部で勤務を、避難所では町民158名の方が避難をしておられた。本町に戻って来られた直後、まっすぐ自宅に帰られたという事だが、役場に行き職員

町民避難中、 町長自宅へ帰る

【議員】7月6日西日本豪雨災害の当日、宮崎出張から本町に戻って来られた時間を「夜中の10時位」と答弁しておられた。この答弁、間違いでは。【町長】まさに、そのとおりです。安易に答えていました。（議員が）調べられたら、夜9時だったそうですね。大変申し訳ありません。

町長、嘘発言 認める

大石 俊郎 議員



の労をねぎらうと共に、被害状況等について、報告を受けるという思いに至らなかったのか。【町長】今思えば、避難所に行つて、チョット挨拶でもしなければいけないかったかなと、反省をしております。

翌日は出まして、職員等には労をねぎらつています。

教育長、災害対策本部で勤務しなかった理由。熱く語る

【議員】教育長は災害対策本部が開設された際、町長不在の中、副本部長として、指揮する上で、教育長室が最も適切な場所と判断をされたのか。【教育長】教育長室で対応した理由は4点。

- ① 避難者が100名以上と予想される中、対応に緊急を要した。
- ② 児童生徒が、学校に待機していたので、父兄への引き渡しなど必要であった。
- ③ 彼杵川が決壊した場合、総合会館2階へ誘導判断を下す必要があった。

【議員】総合会館での対応は、教育次長以下職員もおられた。町長不在の中、災害対策本部で指揮する立場におられた。職務放棄と思われるが、教育長の給料の中には、副本部長としての分も含まれているのでは。【町長】含まれていると思います。

④ 災害対策本部には、もう一人の副本部長である消防団長もおられた。

【議員】総合会館での対応は、教育次長以下職員もおられた。町長不在の中、災害対策本部で指揮する立場におられた。職務放棄と思われるが、教育長の給料の中には、副本部長としての分も含まれているのでは。【町長】含まれていると思います。

【議員】10月27日の東京東彼杵会に、町当局から町長、教育長、総務課長他1名の職員を含む4名が参加された。この出張間、大地震が発生した場合、どなたが指揮をされるのか。

【町長】町長が不在の時は、総務課長、管財課長、まちづくり課長と順位を決めている。大災害時は、何処にいても一緒です。大きな災害が来た場合は、想定（どうしようも）出来ません。

里漁港内の防波堤に大きな段差があり、先日漁業者の方が負傷されました。その対策は

12月の補正予算に、補修工事の金額を計上しました。

町長

前田 修一 議員



里漁港の防波堤の 段差の解消及び護 岸工事について

【議員】前町長との、約束である護岸工事が、いまだに履行されていないが。

【町長】その件は、調査したが、確認できませんでした。前町長との引継ぎ資料にもありませんでした。

【議員】約束をされたところ、わたくしは、聞いております。

【町長】要望があれば、提出してください。それから、検討します。

【議員】防波堤に大きな段差があり、漁業者の方が、負傷されました。その対策はどうされましたか。

【町長】直ちに担当の部署に調査及び対策を指示しました。担当課長はその件は把握しております。12月定例会に補正予算を計上しております。負傷された方には、お見舞い申し上げます。

【議員】ふるさと交流センターの現状及び今後そのぎ茶市、東彼杵町花火大会との関わりをどうされますか。

【町長】交流センターの事業はグリーンツーリズム、ふるさとふれあい祭り等、収益性が上がる方向で活動しています。

【議員】そのぎ茶市は、実行委員会です。町では、花火大会は、商工会青年部が中心にやっております。

【議員】議会の常任委員会の報告でも運営を検討する時期になっているとの報告がなされております。

【町長】前観光協会の総会の席で町長は今後観光協会が事業をやるとの発言がありました。今後の方針は。

【町長】花火大会は商工会が運営されています。補助金は出します。町では無理です。

町政を問う 7名が一般質問

（本稿は質問者の責任で作成しています）

一般質問とは

町の行政全般にわたり町長等執行機関に対して行う質問。
制限時間60分以内。
会議録は後日ホームページで閲覧できます。

1 岡田 伊一郎 議員

○千綿女子高等学園跡地活用事業は
○常明園跡地における口ハスの郷は
○小中学校のいじめ対策と教職員の労働環境は

2 大石 俊郎 議員

○第3回東彼杵町議会定例会における町長及び教育長等の答弁は
○東彼杵町集落対策に係わる実態調査は

3 前田 修一 議員

○ふるさと交流センター（観光協会）の現状の活動状況並びに今後の方針は
○里漁港の防波堤は

4 吉永 秀俊 議員

○町長就任後の新規事業の成果と検証並びに、財政の現状と今後は

5 浪瀬 真吾 議員

○高齢者の交通事故防止のための自治会型コミュニティバスの活用は
○町活性化のための各種の施策は

6 立山 裕次 議員

○今後の町内公共施設等の総合管理計画は
○公立中学校の部活動休養ガイドラインは
○集落点検アンケートの活用は

7 森 敏則 議員

○新たな交通体系の整備への取り組みは
○委員会調査報告書に対する町長の施政は



岡田伊一郎 議員

千綿女子高等学園跡地の新設水道管は3年間利用できず

【議員】平成27年5月28日に貸付が始まり、ばれいしよ、たまねぎを栽培する農場が進出したが、経営難で撤退された。今回の件を企業誘致と同様に考えられた経緯と県との綿密な調整はできていたのか。

【町長】県は当初から一括売却の方針であった。企業誘致という考え方をしないと、この場所への企業の進出は難しいので、あらかじめインフラ整備を行った。県の土地であり打ち合わせというのではない。

【議員】県の説明では、この農場は構成員3名、雇用者1名、3年後に雇用者1名となっている。将来的には外国人の研修用に活用となっている。水道管敷設後、3年間も利用できない状態であるが。

【町長】平成2年に建てた寮に宿泊をさせたいということ、水道や浄化槽の整備のために水道管敷設を実施した。整備をするのは当然である。

【議員】水道管敷設は3カ月で工事は完成している。農場が完全に入所してから、寮内の水道管もやり直さなければならぬので、並行してできたのでは。

【町長】公共工事というのは、全てダムでも道路でも、つくったけど利用がないとなったら、埋没費用である。いつでも社会資本の整備のためには、整備をしておかなければならない。

小中学校のいじめ対策と職員の労働環境は

【議員】ラインなどで一度発信され、拡散された情報は完全に消し去ることができないことや、責任についての児童、生徒への指導法は。

【教育長】子どものスマホなどの所持については、最終的には保護者が責任をもつ。学校懇談会や学級だよりなどで、一回アップした情報などで、なかなか消しにくいという点を注意していただくという啓発活動を繰り返している。

【議員】教職員の自宅への持ち帰り業務もあるのでは。

【教育長】教材研究、明日の授業の準備などの場合にはある。しかし、テスト問題とか外部に漏れてまずいような書類は校内での処理を指導している。

ふるさと交流センターの現状と今後の方針について

【議員】ふるさと交流センターの現状及び今後そのぎ茶市、東彼杵町花火大会との関わりをどうされますか。

【町長】交流センターの事業はグリーンツーリズム、ふるさとふれあい祭り等、収益性が上がる方向で活動しています。

【議員】そのぎ茶市は、実行委員会です。町では、花火大会は、商工会青年部が中心にやっております。

【議員】議会の常任委員会の報告でも運営を検討する時期になっているとの報告がなされております。

【町長】前観光協会の総会の席で町長は今後観光協会が事業をやるとの発言がありました。今後の方針は。

【町長】花火大会は商工会が運営されています。補助金は出します。町では無理です。

アンケートの活用方法は

アンケートは意味がない

町長

立山 裕次 議員



集落点検アンケートの活用方法は

【議員】回収の目標と町内全体の回収率は、

【まちづくり課長】目標値は決めていないが、限りなく100%を目指しています。現在の回収率は64%です。

【議員】一番少ない地区の回収率は、

【まちづくり課長】約36%です。

【議員】100%を目指しているのに戸別回収等は考えていないのか。

【まちづくり課長】考えていないが、区長会で再度お願いをしたい。

【議員】設問の中で、20年後の自治会活動への参加状況を尋ねていますが、記入された方の年齢で変わってくると思うので、なぜ、世帯全員の調査をしなかったのか。

【まちづくり課長】人的資源の具体的な数値の把握ですので、問題ないと思います。

【町長】アンケートは完璧ではありません。あく



今日は3人でキャッチボール

中学校の部活動の休養日はどうなるのか

【議員】4月から実施できるのか。

【教育長】現在、PTAの作業部会で進めている。来年度中には実施する。

【議員】教職員の働き方改革が問題と思うが、今後の町の対応は、

【教育長】総合型スポーツクラブ等を活用し、地域全体で指導できるようにしたい。

森 敏則 議員



東部循環線 運行改善

【議員】町営バスは平成16年から運行されている。更に平成21年から新たなルートとして、東部循環線が運行されているが、利用する住民が少ない要因は？

【町長】利用される住民のニーズに合っていない要因は

① 行き先とコースが要望に合っていない。

② 本数（運行時間帯）が少ない。

③ 公共交通への接続が悪い。

④ 自家用車の利用が多いため、多い。

等があると思われる。



改善策を 問う

【議員】利用されない要因を認識しているのであれば、改善施策の形成・構築がなぜ進まないのか？

【町長】町民のニーズにあった試行運転を行うと共に、集落調査等の結果を参考にして、運行システムの形成・構築を進めているが、P（計画）・D（実行）・C（評価）・A（改善）が機能していない状態なので成果が上がっていない。

交差点の 改良が必要

【町長】交差点改良の必要性は感じている。視界を確保するには庄屋公園敷地に拡張すれば、視界は解消することができ

写真コンテストやりたい

【議員】写真によるまちづくり事業は3年間で951万円費やした。あまり成果があったとは思えない。それよりも25年度に行った写真コンテストは十数万円で町内絶景ポイントのピエールに効果があったと思うが。

【町長】写真は成果が出ていないが、町の露出度は増えたと思われる。町内の景観、町民の日常生活の実態などが発信できるので、写真コンテストはまたやりたいと思う。

厳しい財政運営になる

【議員】地方交付税は3年連続減少し、国策で今後も減少傾向が続くと思われる。福祉組合のごみ焼却場の本町負担分約7億円や水道・公共下水道事業の返済が増える平成34年頃からは、収入は減り、逆に借金返済は増えるが、今後の財政運営の見通しはどうなのか。

【町長】厳しい財政運営を余儀なくされる。ハード的な事業ができなくなっている。

高齢者の事故防止のため予約制による自治会型 コミュニティバスの運行は検討できないか

継続して検討していきたい。

町長

浪瀬 真吾 議員



【議員】以前から提案していることであるが、各自治会、あるいは近隣自治会との協力による予約制の自治会型コミュニティバスの運行は検討できないか。

【町長】予約制の自治会型コミュニティバスというところで継続して検討していきたい。

【総務課長】視察先の小郡市と島根県飯南町では、自治会の主体的かつ積極的な取り組みがあり、地域の移動手段を住民自らつくり育てる意識をもって取り組まれ、行政や関係機関と連携しながら行われているが、問題点もある。

町としては、他の移動手段も含めながら検討していきたい。

【議員】視察に千綿地区からも同行されているが、要望等は出ていないのか。

【町長】駄地地区あたりから出ている。千綿地区は、千綿駅を中心に巡回バスの運行ができないか考えている。自治会の協力がないといけないと思っている。

**町活性化のための
各種施策について**

【議員】12月末には、アメリカを除く11か国による環太平洋経済連携協定（TPP）が発行されますが、農業の活性化、発展のための今後の施策は、

【町長】農業を取り巻く情勢は、担い手の高齢化或いは減少、耕作放棄地の増大等、解決すべき課題が山積している。町としては、やる気がある担い手、自ら頑張る担い手、チャレンジをする担い手を中心に施策展開を図る必要がある。

【議員】商工業の発展は、

【町長】商工会が一体となっっているんな知恵を出しながらやるしかない。

【議員】漁業後継者の確保は、

【町長】音琴地区に1名いらつしやるが、大村湾漁協とも協議をしながら後継者をどうするか、施策を練らなければなら

感知式 信号機要望

【議員】旧農協千綿支店（米倉庫）の進入口拡幅と、感知式信号機の要望を、総務厚生常任委員会の所管事務調査として報告したが、報告に対する町長の所見は？

【町長】常任委員会の報告は、真摯に受け止めている。

要望されている所は、両方向ともカーブである為、事故も発生しており非常に危険な場所であることは認識している。

吉永 秀俊 議員



常明園跡地の「ロハスの郷」事業は失敗だった

【議員】改修費や委託料等で約2200万円を使っただけで「ロハスの郷」事業はわずか1年間で中断されたが、原因は、

【町長】自然農園食育事業でアレルギーの子供たちに役立ち、耕作放棄地対策にもなると思ったが、知らない間に代表者の交代があり、しかも長期不在で、話し合いが全くできなかった。事業は失敗だった。

【議員】事業が中断となると国補助金1300万円の返還もあるのでは。

【まちづくり課長】国との協議になるが、早期に次期事業を決定しないと最悪の場合は補助金返還もあり得る。

合併浄化槽設置補助金来年度以降も継続

【議員】26年度から大幅に増額されたこの補助金は来年4月で終わりになる、延長はできないか。

【町民課長】公共下水道が来ない世帯が1200軒で、現在までの合併浄化槽設置世帯は699世帯なので、もう少し延長したいと思っています。



厳しい財政運営になる

【議員】地方交付税は3年連続減少し、国策で今後も減少傾向が続くと思われる。福祉組合のごみ焼却場の本町負担分約7億円や水道・公共下水道事業の返済が増える平成34年頃からは、収入は減り、逆に借金返済は増えるが、今後の財政運営の見通しはどうなのか。

【町長】厳しい財政運営を余儀なくされる。ハード的な事業ができなくなっている。

産業建設文教常任委員会活動報告

○きのくに国際高等専修学校視察

来年4月に開校を予定されている学校法人きのくに子どもの村学園系列のきのくに国際高等専修学校の特徴や指導方針等を調査するため、和歌山県橋本市彦谷にある学校を訪問しました。この学校は、橋本市の橋本駅から約7kmの山中にあり、1998年開校され1学年約20名の学校です。基本方針としては、自己決定、個性化、体験学習を大切にしながら、一人ひとりがみんなと自由に積極的に学べる学校活動を行っているとのこと。生徒たちの話を聞くと、縛りがなく自分にあった自由な学習や研究ができとのこと、公立の中学校から進学した生徒もいました。殆どが寮生で寮費を含め年間約150万円かかるとのこと。なお、海外研修としてイギリスにも行っているとのこと。進学生徒の約70%以上が文系の大学に進学しているとのこと、子ども達もののびのびと学習している様子が伺えました。



○淡路市における大震災後の復興状況と防災対策について

平成7年1月17日、早朝発生した阪神淡路大震災の復興状況とその後の防災対策の取り組みについて淡路市役所の防災あんしんセンターで研修を行いました。淡路市は、平成17年に5つの町が合併して誕生した人口約44,100人の町です。阪神淡路大震災では、死者6,434名、行方不明3名、負傷者43,792名でマグニチュード7.2（7.3に改訂）、震度6を観測し、一部地域では震度7に相当する揺れが発生したとのこと。淡路市においては、死者58名、重傷125名、軽傷1,052名、住宅被害では、全壊3,082戸、半壊3,984戸、一部損壊10,034戸で甚大な被害を受けていますが、震災前はハザード



ドマップ作成までは至っていなかったとのこと、後に作成されたようです。課題としては、当時、淡路島付近は比較的地震が起りにくいと考えられていたため、地震に対する知識や経験もなく、また、早朝の発災ということもあり情報伝達が上手くいかず、混乱を招き、被害が大きくなったことが挙げられております。今後は、防災体制の強化を図りつつ、市民に周知し自助・共助で地域防災の向上を図ることが重要であると認識されております。

総務厚生常任委員会活動報告

○ 東彼杵町地域包括支援センターの現状と事業内容

本町の地域包括支援センターは現在、管理者1名、保健士1名、社会福祉士1名、管理栄養士1名、介護支援専門員（嘱託）1名、看護師（嘱託）1名、認知症地域支援推進員兼生活支援コーディネーター（嘱託）1名の計7名で運営されており、今年度の主な事業及び事業計画は次のようになっている。

☆在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築や相談窓口の設置に向け3町や関係者との協議を進めている。

☆認知症の人やその家族に対する相談支援や認知症の正しい理解への普及啓発を行う「認知症地域支援推進員」と「認知症初期集中支援チーム」を4月に設置

☆生活支援コーディネーターを4月に配置し、高齢者の日常生活ニーズ及び地域資源を把握し、必要な生活支援のサービス構築を図る。

☆自立支援型地域包括ケア会議を月1回開催

☆本町の1次介護認定は2名の嘱託看護師が行っており、2次審査及び更新は東彼3町で行っている。現在の認定者数は平成29年度末457名で、ここ5年間横ばい状態で推移しており、被保険者数2,782名に対する認定率は16.4%で県内でも佐々町に次ぐ低さである。

○ 公共交通空白地有償運送と地域乗合交通事業の視察報告

★茨城県太田市高倉地区（人口約500人）で行われている全国2例目の公共交通空白地有償運送（運輸省の許可必要）の事業内容は次の通りである。

事業主体：高倉地域づくりの会（自治会組織）

運行時間：毎週火曜日9時～17時

運賃、予約方法：300円、前日までに電話予約

運転手：ボランティア9名、平均年齢66歳

その他：5人乗りワゴン車1台（補助金234万円）、市からの補助年間20万円

★神奈川県大和市の乗合無償運送事業（運輸省の許可必要なし）の主な内容

平成23年から開始されたデマンド型バスは市内9自治会（2400世帯）の地域住民が中心となって、10人乗りワゴン車を使い、地域と駅、商業施設等を結ぶ移動手段。

運営経費：9自治会の各世帯からの協力金、企業協賛金、個人支援金、バザー収益金等

運行概要：平日、1日9キロを15周、運転登録者13名、ボランティア添乗員登録者25名

市の関与：車両の確保、燃料提供、年間補助金300万円



新年のご挨拶

議長 後城 一雄

新年あけましておめでとうございます。町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から町議会に対しまして、温かいご理解とご支援を賜りますことを心からお礼と感謝申し上げます。

町議会といたしましては、町民皆様の付託に十分応えることが出来ますよう、それぞれの委員会に課せられました課題と改革に取り組んでいるところでございます。

さて、我が町におきましては少子高齢化が進む中、地域の皆様はじめ、町民皆様の御理解のもと、本年4月1日から旧音琴小学校跡地にきのくに子どもの村学園の開校、千綿中学校、彼杵中学校の統合による東彼杵中学校の開校ということになりますことに対し、敬意と感謝を申し上げます。今後の学力やスポーツの向上並びに校風づくりに期待をいたします。閉校校舎につきましては、引き続き町民皆様の御理解を求めながら活用に努力するということでもありますのでよろしくお願い申し上げます。

そのぎ茶が、全国茶品評会において、1～3位あるいは産地賞など、2年連続での快挙を成し遂げられました。お茶は勿論ですが、東彼杵町を全国に轟かせていただきましたご功績は大であります。今後も関係各位が健康に留意されますとともに、益々のご活躍を期待いたします。

町議会といたしましても、町民皆様が少しでも幸せを実感できるよう初心に戻り、町執行部と協力しながら誠心誠意町政に取り組んで参る所存でございますので、今後とも町民皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。結びに、今年は年号も変わります。それにふさわしい年になりますように念じますと共に、町民皆様方のご健勝とご多幸ご活躍をご祈念申し上げ、町議会を代表しまして新年のご挨拶といたします。



編集後記

あけましておめでとうございます。昨年も議会だよりをご愛読いただきありがとうございました。ありがとうございました。

一月は睦月です。意味の由来を調べたら、お正月に家族や親族が集まり睦みあう互いに親しみあう、仲睦まじいということから睦月となったという説があります。(諸説あり)

今年は猪年です。猪突猛进とまではいきませんがお互い切磋琢磨しながら頑張らしましょう。

今年一年町民皆様の御健康とご多幸を心からお祈りいたします。
(俊二)

議会広報編集常任委員会

委員長 口木俊二

副委員長 立山裕次

委員 吉永秀俊

前田修一

大石俊郎

橋村孝彦